

授業概要

幼稚園教諭として、正しい国語の指導を行う力の養成を目標として指導する。「小学校学習指導要領」「国語」における「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の四つの柱を基軸として、〈小学校・国語科〉との連続性において「幼稚園教育要領」「言葉」を考察し、四つの柱における指導力を養うことを目標として指導する。

「幼稚園教育要領」領域「言葉」と「小学校学習指導要領」「国語」〔第1学年及び第2学年〕を比較し、幼稚園の「言葉」の教育において、どのような国語力の発達の流れにあり、また、将来的にどのような目標をもって教育を行ってゆけばよいかを考察し、指導する。

授業計画

第1回	ガイダンス、幼稚園の国語教育概説
第2回	幼小連携から国語教育を考える1
第3回	幼小連携から国語教育を考える2
第4回	「聞くこと」―「言葉」と「国語」の比較、「聞くこと」の指導の実例
第5回	「話すこと」1―「言葉」と「国語」の比較
第6回	「話すこと」2―「話すこと」の指導の実例
第7回	「読むこと」1―「言葉」と「国語」の比較
第8回	「読むこと」2―「読むこと」の指導の実例
第9回	「読むこと」3―読書指導
第10回	「書くこと」1―「言葉」と「国語」の比較
第11回	「書くこと」2―「書くこと」の指導の実例
第12回	「書くこと」3―書き順、発達段階の個人差
第13回	幼稚園と小学校の指導案の比較考察
第14回	幼稚園の国語教育まとめ1―言葉の発達
第15回	幼稚園の国語教育まとめ2―児童文化財
第16回	総まとめ（期末試験）

到達目標

正しい日本語を身につけるとともに、幼児に対して小学校の国語へと導入する国語教育の指導の重要性について考え、幼稚園教諭として幼児にどのように国語を指導してゆくか、様々な方法と実践を学びます。

履修上の注意

幼児の国語教育に関心をもって履修してください。幼児の言葉の発達と幼児教育における国語指導法について学び、そこから各自の〈国語力養成法〉〈国語教育観〉を養成します。課題が多く授業内で消化できないこともあります。提出期限を守って課題に取り組んでください。

遅刻は20分以内までとし、遅刻3回で欠席1回とします。

予習・復習

「幼稚園教育要領」の「領域 言葉」と「小学校学習指導要領 国語」は、よく読んで比較してください。課題は、必ず提出してください。

評価方法

発言・課題への取り組み・コメント・期末試験などを総合的に評価します。課題では、自分の意見を書くことが多々ありますので、考えることを重視してください。

期末試験50%、課題30%、授業参加度20%

テキスト

「幼稚園教育要領」領域「言葉」、「小学校学習指導要領」教科「国語」〔第1学年及び第2学年〕のプリントを、最初の授業で配布します。